

2023 年度（令和 5 年度）

安全報告書



 **長崎バスグループ**
長崎バス観光株式会社 NAGASAKI BUS

目 次

1. 輸送の安全に関する基本的な方針	・・・P3
2. 輸送の安全に関する目標および達成状況	・・・P3
3. 輸送の安全に関する組織体系および指揮命令系統	・・・P3
4. 令和5年度 輸送の安全に関する重点施策と実施結果	・・・P4～7
5. 輸送の安全に関する計画および輸送の安全のために講じる措置	・・・P7
6. 輸送の安全に関する費用支出および設備投資(主な支出等の実績)	・・・P8
7. 輸送の安全に関する監査結果ならびに当該結果に基づいて講じた措置内容	・・・P8
8. 貸切バス事業者安全性評価認定制度	・・・P9
9. 事故災害に関する報告連絡体制	・・・P9
10. 安全管理規程	・・・P9
11. 安全統括管理者	・・・P9



1. 輸送の安全に関する基本的な方針

当社では、『安全管理規程』において、輸送の安全を確保するために遵守すべき事業の運営方針、事業の実施及びその管理体制や方法に関する事項を定め、安全最優先の原則のもと、経営トップから現場まで一丸となって、安全輸送の維持と向上に努力してまいります。

長崎バスグループ経営理念

安全と安心

安全をすべてに優先し、信頼される企業を目指します。

感謝のこころ

お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

仕事への誇り

働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

地域とともに

長崎の未来を創造し、地域とともに歩みます。

安全輸送基本方針「安全は最大のサービス」

2. 輸送の安全に関する目標および達成状況

令和5年度目標

重大事故ゼロ

(達成状況) 令和5年度重大事故発生1件 ※下記の通り

令和5年度発生件数

種別	件数
乗客負傷事故	0件
その他	※ 1件
合計	1件

※乗務員が点検中に負傷したもの

3. 輸送の安全に関する組織体系および指揮命令系統

別紙『重大事故通報系統』及び『重大事故警戒および処理体制』をご参照下さい。

4. 令和5年度 輸送の安全に関する重点施策と実施結果

(1) 教育の実施

① 運行管理者及び整備管理者研修の実施

- i) 安全運転指導技能向上研修:効果的な指導の技術習得を目的とした研修。
 - 運行管理者一般講習対象者2名 11月7日及び9日 運行主任1名、課員1名受講
令和6年1月18日運行課長代理1名受講予定
- ii) 選任された整備管理者が2年毎に受ける研修:車両の保守管理を目的とした研修
 - 整備主任者研修 11月6日 整備課長代理1名受講
 - 整備管理者講習(2年に1回受講) 令和5年1月12日24日受講

② 営業所における安全教育の実施

集合教育実施後はドライブレコーダーによる動画を用い、発生原因の検証と未然防止策について、指導を実施。またヒューマンエラーによる事故防止の指導の実施。

- 毎月の安全安心ハンドブック文書掲載ならびに個別ミーティングによる指導
- 運輸安全マネジメント会議にて、集合教育を実施
※引続き令和5年度は感染症対策を講じ、5類移行まで安全安心ハンドブックを用いた個人ミーティングを中心に指導した。(規制緩和に準じた研修の実施)

③ 適性、初任、適齢診断受診と個人ミーティングの実施

当該運転者に対しては、適性診断受診後、統括運行管理者が受診結果に基づき個別指導を実施。

- 令和5年度受診対象者 一般診断3名、初任診断2名、適齢診断2名全員受診

④ 整備管理者による運行前点検立会指導

鳴見車庫において6月10日、9月7日早朝より実施。

⑤ 運行管理の徹底

本社出勤、宿泊地からの出勤両方とも、出勤する運転者には、点呼時のアルコール検測時に以下の指示を課し、不正防止に注視している。

- i) 厳正な点呼
- ii) 道路状況、コースに応じた指示の徹底
- iii) アルコール検測について

⑥ 各種特別運動の実施

- i) 5月11日～20日 春の全国交通安全運動
- ii) 7月14日～20日 夏の交通安全週間
- iii) 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動

- iv) 12月10日～1月10日 第61回バス無事故運動
 - v) 12月13日～22日 年末の交通安全県民運動
- ※各重点項目と取組内容を周知し、安全の確立を図った。

⑦ 従業員表彰の実施

- 賞賛を受けた従業員へ表彰状を授与し激励した。
令和5年度は延べ15名受賞

⑧ 運輸規則第38条第1項に基づく運転者に対して行う指導、及び監督の実施

- 毎月指導する項目
 - 事業用自動車を運転する場合の心構え
 - 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保する為に遵守すべき基本的事項
 - 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
 - 交通事故に関わる運転者の生理的要因及びこれらへの対処方法
- 3ヶ月に1回以上指導する項目
 - 事業用自動車の構造上の特性
 - 乗車中の旅客の安全を確保する為に留意すべき事項
 - 旅客が乗降する時の安全を確保する為に留意すべき事項
 - 営業区域における道路及び交通の状況
 - 健康管理の重要性
 - 安全性向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
 - ドライブレコーダーの映像を活用した指導・監督の実施
 - 安全性の向上を図るための装置(ASV装置)を備える貸切バスの適切な運転方法等の指導及び監督
- 適性診断受診結果後、1ヶ月以内に指導する項目
 - 運転者の運転適性に応じた安全運転(受診後随時)
- 歯止めの確実な運用についての継続指導

⑨ 大型車両のチェーン装着教習の実施

- 12月19日統括運行管理者1名、整備管理者1名運転者7名計9名が参加し、大型車両タイヤへチェーン装着教習を実施し、特に経験の浅い運転者を中心にし、安全且つスムーズに装着できるよう、先輩運転者が指導



⑩ 異常気象時の走行指導を実施

- 12月21日運行管理者1名、運転者4名が参加し、異常気象による豪雨・大雪時、視界確保の為、早目のライト点灯、車間距離保持及び法定速度遵守、ハイドロプレーニング現象への警戒等を指導



⑪ 運輸安全マネジメント関連に関するセミナーの受講

- 5月17、19日、6月6日国土交通省主催による「運転者に対する指導監督の実施」「健康管理の重要性」「車両の点検整備の実施」「最近の監督及び行政処分」の講習会に、運行管理者7名受講
- 9月14、15日国土交通省主催の運輸安全マネジメントセミナー「ガイドライン及び防災指針セミナー」「内部監査セミナー」「リスク管理セミナー」研修に統括運行管理者が受講

(2) 運輸の安全に関する会議の実施

① 運輸安全マネジメント会議の開催

- 2月、4月、5月、6月、8月計5回実施 延べ22名参加(うち1回は4月車庫内にて点検作業の再確認を実施)

※コロナ禍の影響で会議体では4回開催。それ以外の月は安全安心ハンドブックを用い個人ミーティングで実施

② ドライブレコーダーの有効活用

- 運輸安全マネジメント会議の際、映像を用いての事実確認、及び円滑な事故処理の推進、ヒヤリ・ハット事例、事故事例 等会議内で視聴させ、各種教育に活用した
- 全35台に搭載済みであり全車両より情報収集可能

(3) コロナ感染症拡大防止策の実施

実施項目

- 従業員・乗務員の出勤前の検温
- マスクの着用
- 車内換気の実施
- 運行前の車内の除菌清掃の実施
- 手指消毒の励行
- 手洗い・うがいのご協力の呼びかけ
- 運転席周りの感染予防シートの装置

- (4) 長崎県警察本部より優秀安全運転事業所(最高位プラチナ賞)を受賞
乗務員への事故防止指導に活用する運転記録証明書の結果により、2月28日長崎県警察本部より表彰された



5. 輸送の安全に関する計画および輸送の安全のために講じる措置

令和6年度に実施する重点施策を次のとおり定め、安全への取り組みを推進いたします

- (1) お客様と周囲の安全を第一として、『安全輸送基本方針』を遵守します
- (2) 全ての行動で基本動作を遵守すべく、指導を図ります
- (3) ドライブレコーダー記録映像の活用など、運転者教育をさらに向上させ、同種別事故の再発防止を図ります
- (4) 令和6年度重点目標を下記の通り計画し、安全を確立します

◎安全輸送基本方針

『安全は最大のサービス』

◎重点目標

『重大事故ゼロを目標』

◎重点施策

『法令遵守で事故削減』

- 有責事故の撲滅
- 教育・訓練の強化と安全基盤の確立
- 健康管理の重要性を認識

◎安全・サービスの向上

- 酒気帯び運転の根絶
- 法定速度遵守・車間距離の確保
- 誠実な対応とおもてなしの質の向上

(5) 内部監査

- 長崎自動車(株)内部統制室による、営業所保安監査を実施
- 管理規程にかかるガイドラインに対する適合性および有効性の確認
- 監査役による往査の実施

6. 輸送の安全に関する費用支出および設備投資（主な支出等の実績）

令和5年度の安全に関する主な支出、設備投資は次の通りです

主な費用支出

- | | |
|-------------------------|-------|
| ① 健康管理(健康診断費用等)に関する支出 | 496千円 |
| ② 無事故表彰を含む各種従業員表彰に関する支出 | 269千円 |

7. 輸送の安全に関する監査結果ならびに当該結果に基づいて講じた措置内容

(1) 長崎自動車(株)内部統制室による監査

4月19日 本社営業所監査を実施

- 乗務員台帳、点呼記録簿、運行指示書等法定管理書類について点検及び適合性を判定
- 監査結果について営業所内部監査報告書を作成し、経営管理部門(経営トップ、安全統括管理者および運行部)へ報告し、指導項目について改善
- 指摘事項に対する対策として、運行管理者による再発防止の実施

(2) 九州貸切バス適正化センターによる巡回指導実施

4月26日一般貸切旅客自動車運送適正化機関による巡回指導が実施され、「乗務員台帳」、「適齢診断の受診時期」、「教育指導者の記録」の3点において指摘を受け、改善及び適正化センターへ報告を行った

引続き法令遵守の向上を図り、部署内での認識を共有した

(3) 安全統括管理者によるミーティングの実施

直近で起きた事故事例を基に、運行管理者及び整備管理者へ対し事故防止対策の実施

8. 貸切バス事業者安全性評価認定制度

令和4年12月19日に貸切バス事業者安全性評価認定制度の最高ランクである「三ツ星」の継続認定(令和5年4月1日～令和7年3月31日)をいただいた。引続き安全と安心の取組を継続してまいります



9. 事故・災害に関する報告連絡体制

別紙『重大事故通報系統』をご参照下さい

10. 安全管理規程

ホームページ掲載の『安全管理規程』をご参照下さい

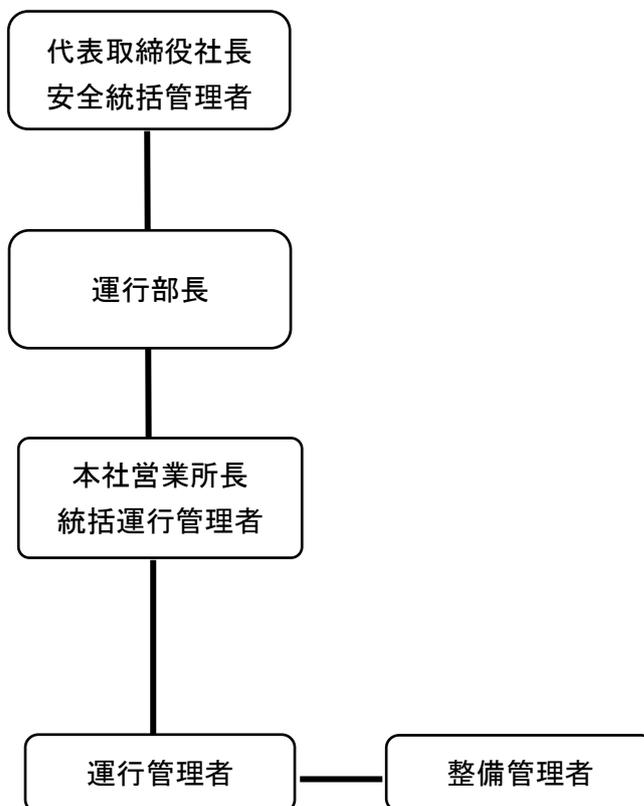
11. 安全統括管理者

安全統括管理者は、旅客自動車運送事業運輸規則第47条の5の要件を満たしており九州運輸局長崎運輸支局への届出を行っております(令和5年12月31日現在)

氏名：井上 智之
役職：代表取締役社長

運輸マネジメントに係わる管理体制

令和5年12月31日現在

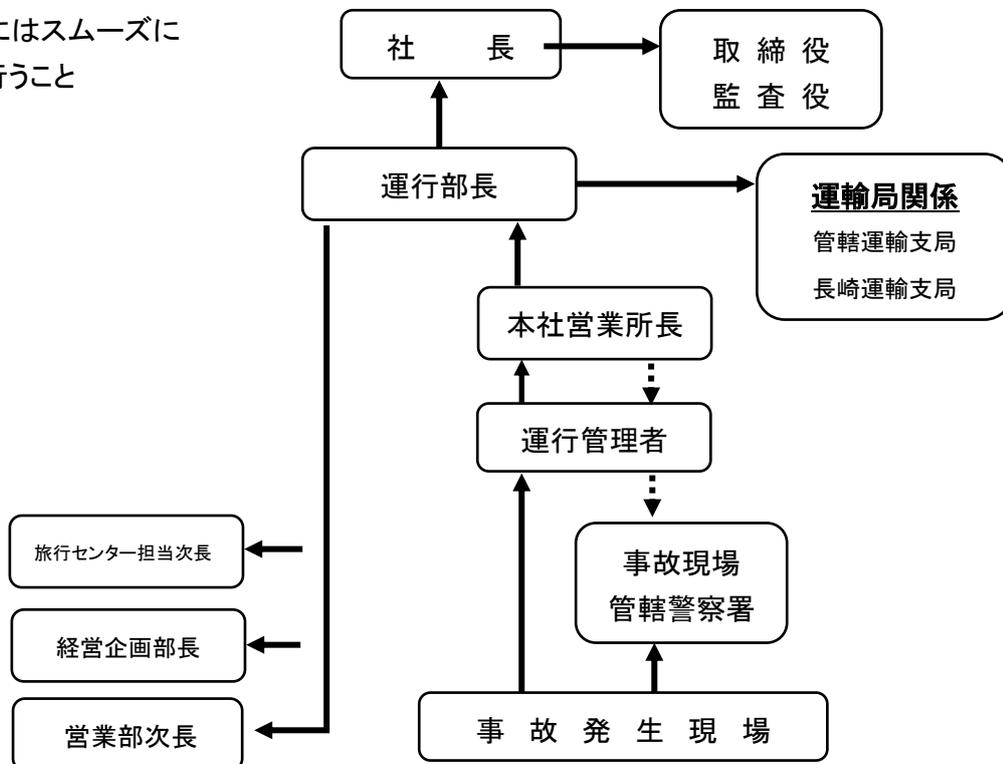


重大事故通報系統

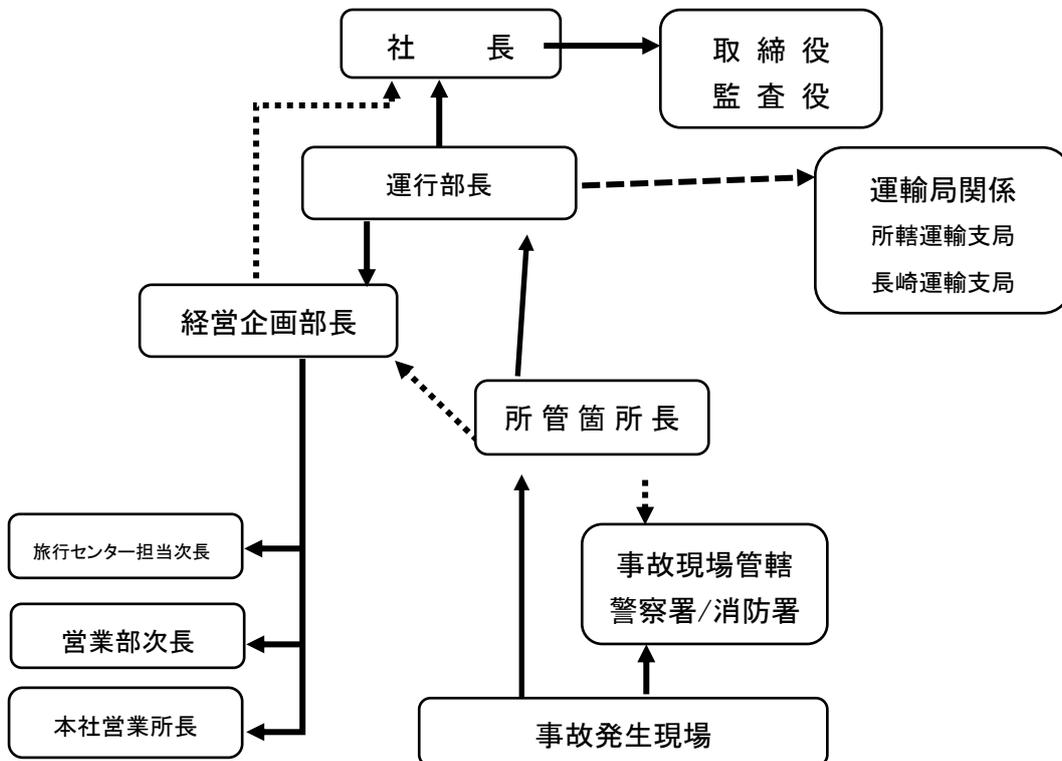
令和5年12月31日現在

【車両関係事故】

※不在時にはスムーズに
伝達を行うこと



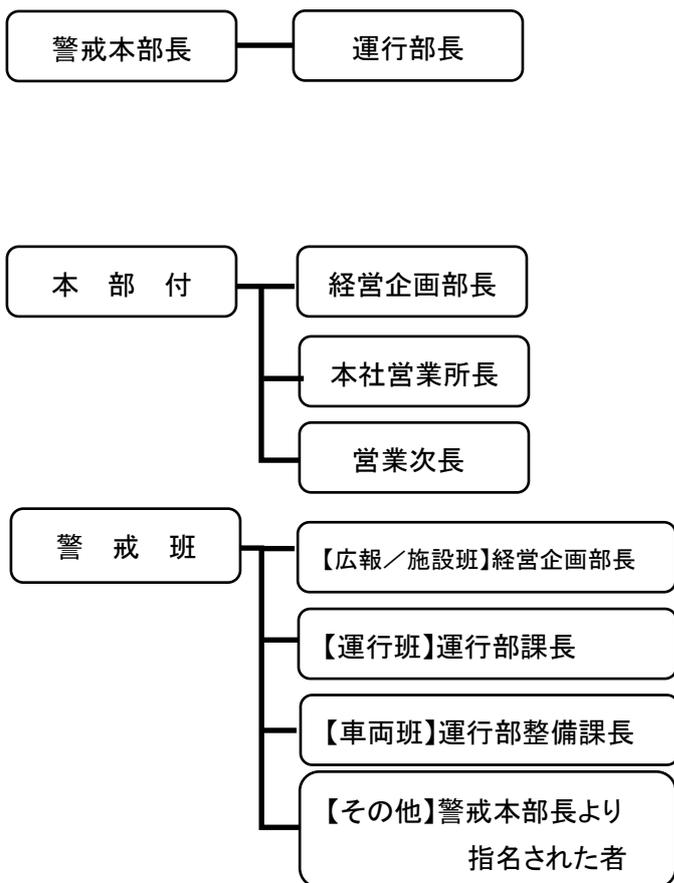
【施設関係事故】



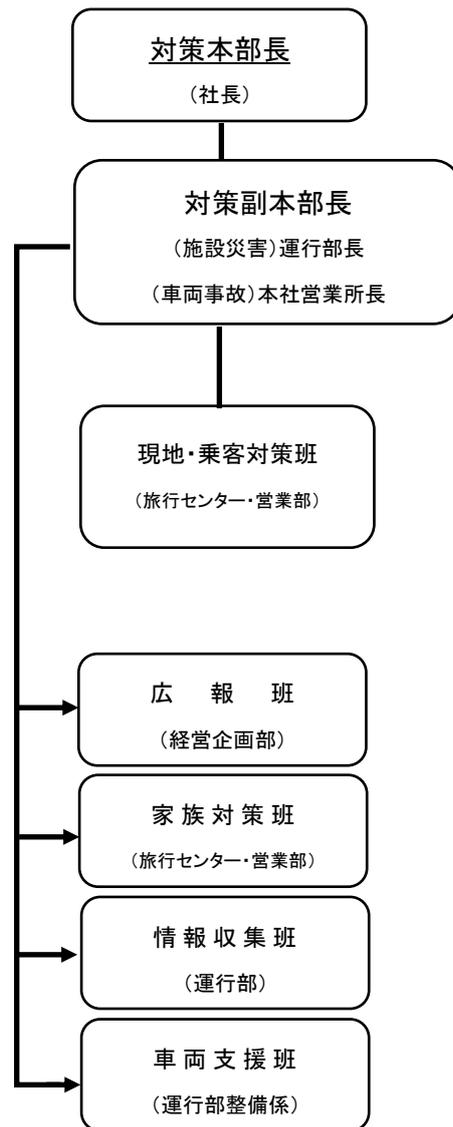
重大事故警戒および処理体制

令和5年12月31日現在

第一体制【警戒】



第二体制【処理】



(注)第一体制【警戒】は、事故発生と同時に第二体制【処理】に切り替わる。

重大事故処理事項

令和5年12月31日現在

1. 負傷者
 - 搬出(救護)
 - 病院収容(診断書含む)
 - 身元確認
 - 家族への連絡、輸送
 - 見舞い
 - 遺留品の確認・保管
 - 宿泊手配・接待
 - 帰宅、退院、転院手配
 - 示談
 - 食事手配(現地)
 - 救急車の搬送先の確認
2. 死者
 - 収容
 - 遺留品保管
 - 身元確認
 - 家族への連絡、搬送
 - 霊安室安置
 - 遺体搬送
 - 葬儀社依頼
 - 遺族への挨拶
 - 通夜
 - 葬式
 - 法事
 - 示談
 - 食事手配(現地)
3. 家族
 - 連絡、現地への輸送
 - 来社家族の控室
 - 来社家族の送迎
 - 挨拶、接待
 - 宿泊
4. 施設
 - 応急修復
 - 解体撤去
 - 作業者手配
5. 車両
 - 引き上げ
 - 現地責任者選任
 - 搬送
 - 修理、廃車
6. 報道関係
 - 対応
 - 情報発表
7. 警察・消防署
 - (現地および長崎本部)
 - 速報
 - 実地検証、立会い
 - 事情説明
 - 挨拶
8. 運輸支局
 - (現地・長崎支局 九州運輸局)
 - 速報
 - 事情説明
 - 挨拶
9. 旅行代理店
 - 事情説明、手配変更
 - 挨拶
10. 救出団体
 - (地方自治会、自治体を含む)
 - 接待
 - 事後挨拶
11. 病院
 - 事情説明
 - 挨拶
12. 勤務先挨拶
13. 地主、家主、施設主
 - 事情説明
 - 挨拶、示談
 - 補償
14. その他の被害者
 - 相手方団体、会社への
 - 連絡および挨拶
15. 道路管理者
 - 復旧、応急対策依頼
 - 事後拡大防止
 - 地理/地形/気象状況の
 - 把握
16. 調達
 - 資金
 - 資材、材料、機材
 - 乗車券手配
 - 従業員宿泊、食事
17. 通信手配
 - 非常電話の設置
 - 応援依頼

【別紙】

事故処理事項は、次のとおり分担する。

事故処理事項	担 当 班	記 事
No.7. 8. 9. 10. 11	情報収集班	運行部
No.6. 13	広報班	経営企画部
No.1. 2. 14	現地・乗客対策班	旅行センター・営業部
No.3. 12. 16	家族対策班	旅行センター・営業部
No.4. 5. 15. 17	車両支援班	運行部整備係

長崎バス観光株式会社